

# 令和2年度環境とやま県民会議 事業報告

## 1 統一活動

私たちは、廃棄物などの身近な問題から地球温暖化をはじめとする地球的規模の問題に至るまで様々な環境問題に直面している。これらの環境問題に適切に対応し、本県の素晴らしい環境を次の世代に引き継ぐためには、私たち一人ひとりが、環境について学び、ライフスタイルや事業活動のあり方を見直し、少ない資源、少ないエネルギーで生活する循環型社会と低炭素社会づくりを目指して行動していくことが求められている。こうした中、令和2年3月には、富山県、(公財)とやま環境財団、富山県婦人会及び富山県消費者協会により、「とやまゼロカーボン推進宣言」の共同宣言が行われたところである。

また、令和2年7月からは本県のレジ袋無料配布廃止の取組みを参考に、全国一律のレジ袋有料化義務化が開始されているが、厚さや素材によって一部の袋は有料化の対象外とされているところであり、本県では、このような例外を設けず、環境先端県としてこれまで実施してきた県民・事業者連携の取組みを継続し、県民の高い環境保全意識を一層向上する必要がある。

こうしたことから、当県民会議では、引き続き統一活動として「とやまエコ・ストア制度」の普及・拡大を図るとともに、とやま環境フェアなど各種イベントを開催し、県民のエコライフの定着・拡大を呼びかけた。

また、当県民会議では、「循環型社会と低炭素社会づくりの推進」と「環境教育・環境保全活動の推進」を事業の柱とし、これらを中心として、県民、企業、民間団体、行政が情報を共有し、一体となって事業を展開した。

なお、本年度の事業実施に当たっては、新型コロナウイルス感染症拡大防止に十分留意し、会議の書面開催やイベントのオンライン開催等の方法も取り入れて実施した。

## 2 事業内容

### (1) 循環型社会と低炭素社会づくりの推進

#### <循環型社会づくり>

##### ① とやまエコ・ストア制度普及・拡大事業

・主 催 とやまエコ・ストア連絡協議会、富山県、環境とやま県民会議、(公財)とやま環境財団

・内 容 とやまエコ・ストア制度登録事業者が県民と協働で行う環境配慮行動を促進するとともに、全国一律のレジ袋有料化義務化を機に、新たに「エコ・ストア」としてレジ袋無料配布廃止等に取り組む事業者を募集・登録し、その活動を支援するなど、「とやまエコ・ストア制度」のさらなる普及・拡大を図り、県民のエコライフの定着・拡大を推進した。

このほか、富山県3R推進に係る表彰式において、エコ・ストア優良取組事業所の表彰をした。

・登録状況 73社(1,080店舗)、6商店街(令和3年4月現在)

##### ② プラスチックトレイ削減・転換事業

・主 催 とやまエコ・ストア連絡協議会、富山県

- ・内 容 プラスチックの排出抑制を図るため、日常生活で多く排出される食品トレイについて、スーパー等におけるノートレイや紙トレイなどへの転換を行うモデル事業を実施し、プラスチックトレイの削減効果、消費者の反応などを検証するとともに、課題の解決策や事業の展開方策を検討した。
- ・モデル店舗 3店舗
- ・実施期間 令和3年2月22日(月)～3月1日(月) 、令和3年2月24日(水)～3月3日(水)および令和3年3月9日(火)～3月15日(月)

③レジ袋無料配布廃止全国展開記念事業

(ア)レジ袋有料化に係る一斉啓発活動

- ・主 催 富山県、とやまエコ・ストア連絡協議会
- ・開催日 令和2年7月1日(水)
- ・開催場所 富山駅、電鉄富山駅、富山駅周辺のコンビニエンスストア3店舗店頭
- ・内 容 本県発の取組みの全国展開を記念して、小型マイバッグの作成・配布により、マイバック持参の呼びかけをして一層のエコライフの実践・定着を啓発した。
- ・参加人数 約25人

(イ)マイバッグ実践モニターの募集の実施

- ・主 催 富山県、環境とやま県民会議、(公財)とやま環境財団
- ・募集期間 令和2年7月9日(木)～7月20日(月)
- ・内 容 マイバッグ実践モニターの募集ポスター700部とチラシ3,000部を制作し、県内高校・大学・専門学校等へ配布した。
- ・実施結果 モニター参加者437名にマイバッグを郵送し、アンケートの回収及び集計を行った。

④新たなエコライフを目指す環境先端県とやま発信事業

- ・主 催 富山県
- ・内 容 レジ袋無料配布廃止をはじめ、「環境先端県」として国をリードしてきた本県の取組みを県内外に発信するための動画や、withコロナ期において家庭やオフィスで取り組む環境に配慮した行動を広く周知するための動画を制作・発信した。
- ・実施結果 「環境先端県とやまPR動画」及び「withコロナ期エコライフ実践啓発動画」を制作し、県ホームページ、動画サイト(YouTube)、とやま環境フェア2020のウェブサイト上で公開した。

⑤ニューエコライフ実践アイデアコンテスト

- ・主 催 富山県、環境とやま県民会議、(公財)とやま環境財団
- ・募集期間 令和2年9月15日(火)～10月15日(木)
- ・内 容 withコロナ期に求められている「新しい生活様式」に合う、家庭やオフィス内における環境に配慮した生活スタイル「ニューエコライフ」の取組み事

例やアイデアを広く県民・事業者等から募り、「とやま環境フェア2020 in Web」での視聴者投票や審査員による審査会により、優秀なアイデアを選定した。

- ・実施結果 応募総数95点（家庭部門：75点、オフィス部門20点）の中から、審査委員による選考に結果、各部門毎に最優秀賞1件、優秀賞4件を選定し、賞状及び副賞を贈呈した。

#### 一部新 ⑥家庭系食品ロス削減対策事業の実施

- ・主 催 富山県、（公財）とやま環境財団
- ・内 容 本県の食品ロスの課題である「手付かず食品」の削減に向けて、家庭の未利用食品を福祉団体等へ寄付するフードドライブについてモデル実施するとともにマニュアル作成等を行った。  
また、サルベージ・パーティについて、本県が認定したサルベージ・サポーター講師と、開催を希望する団体等とのマッチングを行った。
- ・実 績 フードドライブ：3回（8～11月）  
提供された食品の数および参加人数 計2,549点341名  
サルベージ・サポーターマッチング：実施回数（3回）、参加者数（38名）

#### 新 ⑦食品ロス削減全国大会の開催

- ・主 催 富山県、全国おいしい食べきり運動ネットワーク協議会
- ・共 催 消費者庁、環境省、農林水産省
- ・開 催 日 令和2年12月16日（水）
- ・開催方法 会場開催（富山県民会館）およびWeb開催（ライブ配信、アーカイブ配信（令和2年12月18日（金）～令和3年3月31日（水）））
- ・内 容 食品ロス削減に向けての取組みの一層の加速化、県民、事業者、関係団体、行政の連携強化、機運の醸成を図るため、全国大会を本県で開催した。基調講演、トークセッションやパネル展示などを実施したほか、オンライン配信などを通じて本県の取組みを県内外にPRした。
- ・参加者数 会場参加者数：250名（県外81名・県内169名）、Web当日視聴者数：561名

#### ⑧いつでも、どこでもリサイクル促進事業

- ・主 催 富山県
- ・実施時期 令和2年4月～令和3年3月
- ・内 容 民間事業者等による資源物の回収拠点を認定し、住民に啓発することで、資源物回収量のさらなる増加を促進し、再生利用率の向上を図った。
- ・認定数等 15民間事業所（73拠点）

#### 新 ⑨使い捨てプラスチック削減促進事業

- ・主 催 富山県
- ・募集期間 令和2年9月15日（火）～令和3年3月31日（水）
- ・内 容 化石資源由来の使い捨てプラスチック容器からバイオマスプラスチックへ

の素材転換を促進するため、食料品製造業や小売業等の中小企業によるバイオマス由来の原料を使用した代替品の導入に対する補助事業を実施した。

#### ⑩とやま環境フェアの開催

- ・主 催 とやま環境フェア2020開催委員会(富山県、環境とやま県民会議、(公財)とやま環境財団と共催)
- ・開催期間 令和2年12月1日(火)～令和3年1月11日(月)
- ・開催方法 特設ホームページ(「とやま環境フェア2020 in Web」)の開設によるオンライン開催
- ・閲覧者数 閲覧ユーザー数：4,829
- ・内 容 水と緑に恵まれた富山県の豊かな環境を守るとともに、よりよい環境を創造するため、循環型・低炭素・自然共生をテーマとした各種展示等をウェブサイト上で行い、環境保全活動の啓発を行った。

なお、今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の懸念を踏まえ、集客を伴う実開催は取り止め、家庭にしながら各出展者の環境保全に関する取組み紹介が閲覧できるよう、初の試みとしてウェブサイト上で開催した。

#### ⑪3R推進に係る表彰式の開催

- ・主 催 富山県、環境とやま県民会議
- ・開催日 令和2年10月16日(金)
- ・内 容 3Rの推進や地球温暖化対策の推進に尽力し、その功績が顕著な個人、団体等を表彰した。

環境とやま県民会議会長表彰

ごみゼロ・リサイクルの推進に該当する活動	3団体2事業所
地球温暖化対策の推進に該当する活動	2個人2団体
とやまエコ・ストア制度に関する活動	1事業所

#### ⑫ごみゼロ推進県民大会の開催

- ・主 催 環境とやま県民会議、富山県
- ・開催期間 令和2年12月1日(火)～令和3年1月11日(月)
- ・開催方法 オンライン(「とやま環境フェア2020 in Web」と併催)
- ・内 容 3Rの推進や地球温暖化対策の推進に顕著な功績があったとして表彰された上記の功労者の功績や、県民、事業者、行政等のごみゼロ推進にかかる活動状況をとやま環境フェア2020のウェブサイトで紹介した。

### <低炭素社会づくり>

#### ①エコドライブ推進運動の実施

##### (ア)エコドライブの推進

- ・主 催 エコドライブとやま推進協議会、富山県、環境とやま県民会議、(公財)とやま環境財団(富山県地球温暖化防止活動推進センター)

- ・実施時期 令和2年4月～令和3年3月
- ・内 容 二酸化炭素排出量の削減だけでなく、燃費向上や交通安全にもつながるエコドライブについて継続した実践を促すため、11月のエコドライブ推進月間を中心に普及啓発を行った。  
併せて、エコドライブとやま推進協議会が募集しているエコドライブ宣言に協力し、エコドライブ実践者の拡充を図った。

#### (イ) エコドライブ実践促進事業

- ・主 催 エコドライブとやま推進協議会、富山県、環境とやま県民会議、(公財)とやま環境財団（富山県地球温暖化防止活動推進センター）
- ・実施時期 令和2年12月1日(火)～令和3年1月11日(月)
- ・内 容 とやま環境フェア2020がWeb開催となったため、シミュレーターを用いた体験会を取りやめ、フェアの特設ホームページにおいて周知啓発を行った。

#### ②「COOL CHOICE」の普及促進

- ・主 催 環境省、環境とやま県民会議、(公財)とやま環境財団（富山県地球温暖化防止活動推進センター）
- ・内 容 各種講習会や環境イベントを通じて、脱炭素社会づくりに貢献する製品への買換え・サービスの利用・ライフスタイルの選択などの普及啓発を行い、地球温暖化対策に資する国が展開している国民運動「COOL CHOICE（賢い選択）」の拡大・定着を図った。

#### ③クールビズ、ウォームビズ、うちエコ！の実践

- ・主 催 環境省、環境とやま県民会議
- ・開催時期 夏季、冬季
- ・内 容 夏のオフィスのエアコン設定温度を28℃とし、涼しく快適に過ごすために軽装（クールビズ）を実践する。また、冬のオフィスのエアコン設定温度を20℃とし、暖房に頼りすぎず、快適に過ごすビジネススタイル（ウォームビズ）を実践する。

さらに、クールビズ、ウォームビズの取組みをオフィスから家（うち）の中まで広げて「うちエコ！」の普及を図った。

#### ④エコアクション21推進事業

- ・主 催 富山県、(公財)とやま環境財団（エコアクション21地域事務局）
- ・実施時期 令和2年4月～令和3年3月
- ・内 容 中小企業向けの環境マネジメントシステムである「エコアクション21」制度の普及を図るとともに、「エコアクション21自治体イニシアティブ・プログラム」を実施し、事業者の認証・登録を促進し、持続可能な社会づくりを図った。

また、認証・登録事業者における環境経営の理解促進と取組みの活性化を

支援するために、SDGs と企業の関わりについての講演や認定事業者による環境経営の取組み事例を紹介するオンライン交流会を開催した。

- ・実績 エコアクション21自治体イニシアティブ・プログラム：
  - 実施期間(令和2年9月～令和3年2月) 開催回数(6回)
  - 講習会参加事業者数(5社)
- エコアクション21事業者交流会：
  - 開催日(令和3年2月17日(水))
  - 参加者数(26名)

## (2)環境教育・環境保全活動の推進

### ①エコライフ・イベント

- ・主催 県内10市、富山県、(公財)とやま環境財団
- ・実施時期 令和2年4月～令和3年3月
- ・内容 地域での取組みを推進するため、県内10市において、地球温暖化防止やごみゼロなどのテーマに関する、「エコライフ・イベント」を実施した。また、構成団体ではブース出展等に積極的に参加し、エコライフの普及を図った。

#### 各市でのエコライフ・イベント

市	開催日 (参加人数)	イベント名 (開催場所)	概要
富山市	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 〃 〃 〃	①緑のカーテン育て方講習会 ②富山市エコキッズ環境教室 ③COOL CHOICE 普及啓発イベント ④次世代エネルギーパーク見学ツアー  中止とし、代わりに以下の事業を実施 ・チームとやまし×COOL CHOICE めりえ大募集!! (応募者 137 点) ・地域資源を活用した COOL CHOICE!料理を作ろう! 富山市の HP や You Tube で発信 ・児童のアイデアを生かした温暖化防止促進ツールの作成 ・温暖化防止行動促進シールの配布 ・ライチョウのペーパークラフトによる地球温暖化防止啓発事業	テ ー マ  COOL CHOICE 普及啓発  ・「チームとやまし」のマスコットキャラクター「エコケロ」と環境省が推進する「COOL CHOICE」に関連した「めりえ」を募集。 ・地域資源を活用して、夏は暑さを和らげ冬は体を温めるレシピをウェブ上で発信。 ・児童の発案をもとに、温暖化防止行動促進ツールを作成し、市内の小学校へ配布。 ・絶滅危惧種に指定されているライチョウを守る観点から、地球温暖化の防止を訴求するため、ライチョウのペーパークラフトを製作し、市内の小学校4年生から6年生に配布。
	12月17日 (25人)	地域環境教室(国吉光徳保育園)	テ ー マ  環境に対する意識の育成
	2月16日 (34人)	地域環境教室(吉久ひなどり保育園)	・紙すき体験や工作を通じてリサイクルを学ぶ(高岡市職員、中越バルブ工業社員) ・使用済年賀はがきのリサイクルや竹から紙になる話をとおして環境に対する関心を高めた。(高岡市、中越バルブ工業)フードドライブで食品ロス削減を促進
	2月24日 (274人)  (計 333人)	フードドライブ事業(本庁舎1F 特設ブース他5ヶ所)	

魚津市	11月1日(日)	環境保全ポスターコンクール及びグリーンカーテンコンテストの表彰式 埋没林博物館(エントランスホール)	テーマ	できることからはじめよう (魚津の美しい海を守るために)
	11月1日～15日 11月16日～23日	埋没林博物館で展示 サンプラザで展示		・環境保全ポスターコンクール(応募者数:83)及びグリーンカーテンコンテスト(応募者数:5)の表彰式及び、2会場で展示
氷見市	応募期間 4月22日～ 5月31日	手作りマスクコンテスト 結果発表:6月26日 応募数:150件 県内:100件 県外:50件	テーマ	手作りマスクコンテスト
				新型コロナウイルス感染拡大の影響により、全国各地でマスクの品薄状態を受けて、家庭で作るマスクの作品やデザイン画を写真に撮って画像もしくはイラストをメールで送って貰い、生活環境を守ることを目的にコンテストを実施。
滑川市	11月2日(土) (約300人)	滑川市環境フェア2020 (滑川市産業研修センター)	テーマ	環境問題
	キラリングルメの森と同時開催			・日用品を使った手作りパズル ・COOL CHOICEへのメッセージ ・コミュニティバス(のる my car)の展示 ・エコライフ、財団の事業紹介パネルの展示
黒部市	10月から市内飲食店等に配布	「食べきり3015」啓発用コースター 2,500枚作成	テーマ	食品ロス削減推進
				・コースター(なくそう!食品ロス/みんなで3015運動)を2,500枚作成して、市内の飲食店及び旅館ホテル等の利用客に配布
砺波市		新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け中止	テーマ	エコライフの推進
小矢部市	11月14日 (土) (31人)	「第41回小矢部市農業祭」 (クロスランドおやべ)	テーマ	地球温暖化防止
		新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け各出展ブースは中止		・環境ポスター・花いっぱい運動花壇コンクール表彰式 ・環境ポスター・花いっぱい運動花壇コンクール写真展示

南砺市	11月14日 (土)	なんとキッズライツフェス	テーマ エコビレッジ構想の普及啓発
	11月15日 (日)  (300人)	出前講座 福野小学校、福光中部小学校	・南砺市がSDGs未来都市に選定されていることを多くの 方に知っていただくために、ロールバナーを制作し、各種イ ベントや出前講座等に活用して、SDGsに関する旨が一目で分 かるようにした。さらにSDGs木製プレート台や木製ルーレッ トも制作した。
射水市		新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け中止	テーマ エコで育もう！豊かな自然豊かな心

参加人数：964名

応募者数：375名

合計：1,339名

#### ②環境保全・環境教育に関する活動支援事業

- ・主 催 富山県、(公財)とやま環境財団
- ・実 績 「エコノワとやま」152団体(掲載団体数)
- ・内 容 (公財)とやま環境財団に環境保全相談室を設置し、各種相談に対応するとともに、県内で行われている様々な環境保全・環境教育活動について、参加型のウェブサイト「エコノワとやま」を通じて情報発信し、環境保全・環境教育活動の拡大を図った。

#### ③とやま環境未来チャレンジ事業

- ・主 催 富山県、(公財)とやま環境財団
- ・開催時期 令和2年4月～令和3年3月
- ・実施校数 県内全市町村 小学校63校
- ・参加者数 2,710名
- ・内 容 10歳の児童が家族とともに10項目の地球温暖化対策に取り組む「とやま環境チャレンジ10事業」に、小学校教諭や推進員による授業、児童や家族による地球温暖化防止や3Rの推進や食品ロスの削減などの内容を追加し、環境保全意識の高揚及びエコライフの定着を図った。

また、小学校における食品ロス削減の学習を推進するため、本県の実情を踏まえた食品ロスに関する副読本を県内小学校に配布した。

#### ④スターウォッチング推進事業

- ・主 催 富山県、環境とやま県民会議、(公財)とやま環境財団



- ・内 容 大気汚染のない清澄な大気や街の明かりによる光害について理解を深めるとともに、身近な環境保全活動の実践を推進するため、とやま環境財団ホームページにおいて星空観察を呼びかけた。

(※令和2年8月7日(金)の星空観察会は雨天中止)

#### ⑤はじめてのエコライフ教室の実施

- ・主 催 富山県、(公財)とやま環境財団
- ・実施時期 令和2年8月～令和3年2月
- ・実施園数 7園
- ・参加者数 206名
- ・内 容 幼児期から(家族ぐるみで)エコライフの理解・実践・定着を図ることを目的として、幼稚園・保育所等に地球温暖化防止活動推進員を講師として派遣し授業を行う「はじめてのエコライフ教室」を実施した。

#### ⑥SDGs理解促進・環境教育推進事業

- ・主 催 富山県、(公財)とやま環境財団
- ・開催日 令和2年12月4日(金)
- ・受講者数 約100名
- ・内 容 企業の経営層に対しSDGsの理念の啓発や促進を図るため、SDGsのうち特に環境保全に関するゴールの有識者を講師に迎え、企業の経営者や環境保全責任者等を対象とするトップセミナーをウェブセミナー形式で開催した。